

令和 6 年度吉川市自立支援協議会 部会活動報告

I 相談支援部会

1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和 6 年 4 月 11 日 (木) 10:00～	(社福)彩凜会	17 名
令和 6 年 6 月 6 日 (木) 10:00～	〃	17 名
令和 6 年 8 月 1 日 (木) 10:00～	〃	17 名
令和 6 年 10 月 3 日 (木) 10:00～	〃	15 名
令和 6 年 12 月 5 日 (木) 10:00～	〃	15 名
令和 7 年 2 月 6 日 (木) 10:00～	〃	15 名

2 会議の主な内容

1) 事例検討、情報共有

(1) 8050問題、ひきこもり支援について

- ・高齢の両親に介入することで引きこもりの子がいると発覚するケースが年々増えており、ひきこもり支援をテーマとした当事者向けセミナーを 2 回実施した。

(2) 複合的な課題があるケースについて

- ・高齢・障がい・貧困・虐待など複合的な課題があるケースが多く、相談支援部会を中心とした関係機関による連携が、今後ますます重要になってきている。

2) その他、現状や課題について

- ・市内の相談支援事業所が他市に比べて少ないという課題があったが、新規の相談支援事業所が立ち上がり、複数事業所間の協定による連携による成果が出てきている。しかし未だ十分とは言えないため、引き続き基幹相談支援センターを中心として連携しながら支援体制の充実を図ってゆく。
- ・引き続き、8050問題への対策として「高齢者・ひきこもり世帯に対する支援セミナー」を開催する。令和 7 年 5 月に、専門家を招いて講演会を開催する予定。

3 令和 7 年度の相談支援部会について

引き続き、事例検討を中心に各機関の役割、地域での支援など様々な視点から意見や情報交換を継続して行っていきたい。また、ひきこもり支援セミナーを引き続き開催するほか、他のテーマとした催し（セミナー等）や、事業所間での交流（研修）、勉強会の開催等を検討している。

Ⅱ 子ども部会

1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和6年 5月15日(水) 15:00～16:50	市役所301会議室	17名
令和6年 8月21日(水) 15:00～17:00	市役所302会議室	13名
令和6年 11月20日(水) 15:00～17:00	市役所302会議室	13名
令和7年 2月19日(水) 15:00～17:00	市役所303会議室	10名

2 会議の主な内容

1) 各機関と情報提供・意見交換

- (1) 各機関の事業内容の紹介
- (2) 障がい福祉サービスの利用状況について
- (3) 福祉、教育、保健の連携について

各機関の事業内容とともに他機関との関係性や連携実績を説明することで、子どもの年齢や課題に応じた各機関の役割分担と関わり方について理解を深めた。「医療的ケア児の受け入れ体制」「障がい児に対する性教育」等のテーマを毎回設定し、事例を交えながら制度について知識を深めたり、他機関連携の重要性を再認識した。

2) 子どもの障がいや発達に悩みを抱える保護者の支援体制構築のためのフローチャート

障がい児の早期支援支援体制の確立を目的に、横の繋がりを意識しながら支援体制を目視できるフローチャートの試作品を作成。最初に相談を受けた支援者・職員が、スムーズに適切な担当窓口を確認し、職員の経験年数やスキルに関わらず適切なタイミングで必要な支援を早期に提供できるように活用していく。

3) その他、現状や課題について

子どもの貧困、虐待、不登校など近年深刻化している様々な課題が複雑に関連しており、子自身の発達の課題と併せ、保護者自身が外国籍であったり、精神疾患や知的障がいを持ち、保護者支援を必要としているケースが多い。保護者支援や家庭支援を前提としながら、子の課題解決のため、より連携を必要とする困難ケースが増えている。

3 令和7年度の子ども部会について

試作品のフローチャートを子ども部会の構成メンバーで利用し、問題点や改善点を修正し精度を上げる。福祉・教育・保健の他機関でも活用できるよう周知・実用化を目指し準備をしていく。他機関・多職種でより一層の連携強化を図ることで、就学前から学齢期、義務教育後まで切れ目のない支援を意識して取り組んでいきたい。

Ⅲ 就労部会

1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和6年 4月25日(木) 15:30～	(社福)彩凜会	15名
令和6年 6月27日(木) 15:30～	〃	15名
令和6年 8月22日(木) 15:30～	〃	10名
令和6年10月24日(木) 15:30～	〃	11名
令和6年12月26日(木) 15:30～	〃	16名
令和7年 2月27日(木) 15:30～	〃	一名

2 会議の主な内容

1) 情報提供・意見交換

(1) 就労部会構成機関の事業報告

- ・機関ごとの令和5年度中の就労実績、主な取り組みの報告

(2) 吉川市障がい者就労促進支援金についての情報共有

- ・就労促進支援金制度の周知、令和5年度の利用実績を部会で共有することで、障がい者就労の充実やきっかけを図った。

(3) 吉川市合同就職説明会についての情報共有

- ・市内事業者及び市内求職者支援のため、商工課で主催している合同就職面接会について、障がい者求人枠を設置し、障がい者就労のマッチングを図った。

(4) 吉川市役所障がい者職場体験事業実施についての情報共有

- ・夏休み期間を利用し、特別支援学校高等部2年生2名を受け入れ、職場体験実習を行い、障がい者就労の理解促進、就労意欲の向上を図った。

一週間(5日間)を1名ずつ受け入れ、市役所での作業(シュレッダー、郵便振り分け、郵便配達、メモ帳づくり、課名押印作業など)

(5) 吉川青年会議所主催「お仕事チャレンジ吉川」についての報告

- ・11月に、吉川青年会議所主催で「お仕事チャレンジ吉川」が開催され、障がい者就労の理解促進が図られた。

市内5事業者が、障がい者5名の方を受け入れた。

- ・事業者からは、「色々な体験ができた。」「障がい者雇用のハードルが下がった。」「合理的配慮の難しさを実感した。」などの意見があった。

2) その他、現状や課題について

就職しても、職場の理解不足や精神状態の悪化から、就労先への定着が難しいことが課題となっており、支援金を活用して就労先への定着を図るほか、行政と事業所等が連携し

た更なる啓発が必要である。

また、在宅支援などの新たなサービス提供や難病の方の就労相談などの課題や手段が生まれ、今後は様々な働き方を見据え、支援のあり方についても柔軟な対応が必要である。

3 令和7年度の就労部会について

引き続き、行政と事業者が連携しながら障がい者就労の啓発を図ると共に、事例検討を通して各機関の役割、地域での支援など様々な視点から意見や情報交換を継続していきたい。

また、優先調達法に基づき、市内事業所の特色や利点を生かした調達につながるよう市役所内から業務拡大を図っていきたい。

さらに、令和7年度から、障がい者雇用の理解、職場実習の受け入れを促進するために、就労部会に、オブザーバーとして、「吉川市商工会」理事2名を招聘し、地域での障がい者の雇用機会の拡大を図る取り組みを関係機関と連携して支援していく。

IV サービス向上部会

1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和6年 5月22日(水) 16:00~17:00	(社福)彩凜会	15名
令和6年 7月24日(水) 16:00~17:00	〃	16名
令和6年 9月25日(水) 16:00~17:00	〃	15名
令和6年 11月27日(水) 16:00~17:00	〃	16名
令和7年 1月22日(水) 16:00~17:00	〃	15名
令和7年 3月26日(水) 16:00~	〃	—

2 会議の主な内容

1) 新しい活動について・情報共有

(1) 新しい活動について

- ・令和5年度の部会にて、内職だけではない作業の在り方について、検討したいと話題にあがっていた。
- ・令和6年度は、農業と福祉の取り組みを行い、生産、加工、販売などの6次産業化の可能性について、市内の休耕地を活用した、新たな活動を行うことになった。
- ・大根の種まき(9月)→収穫(12月)→漬けもの作業(たくあん)→製品(パック詰め作業)→商品化の検討

(2) 各事業所の状況報告について

- ・令和5年度に相談支援事業所トナリ、令和6年度に相談支援事業所りらくまが開設され、利用者にとって、相談業務の充実が図られた。
現在、障がい者相談支援事業所すずらんと協定を締結し、市内の相談支援事業の体制づくりを進めている。
- ・就労継続支援事業所から、数名の方が一般企業に就労されたとの報告があった。
一方、通所が困難な方は、在宅ワークの利用者も増加している。

2) その他、現状や課題について

サービス利用の相談が増える一方で、いざ利用を開始すると通所が難しい現状もある。訪問型や在宅支援などを提供する事業所も増加している。

3 令和7年度のサービス向上部会について

(1) 農福連携の取り組みの継続

令和6年度に実施した農福連携事業の取り組みを継続する。

大根の種まき、収穫、たくあんづくり、パック作業を行い。商品の検討を行った。
商品の可能性は、十分、手ごたえを感じた。
令和7年度は、ほかの農産物の加工品について、チャレンジする。
(ジャガイモ、さつまいもなど)

(2) 障がい者の芸術文化の可能性について考える。

・障がい者アート展などの視察

障がいのある方の潜在的な力を発揮するアート展などを視察し、障がい者の芸術文化の可能性や活躍の場などについて考えていく。

Vグループホーム部会

1 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
令和6年 5月 8日 (水) 10:00~12:00	(社福)彩凜会	13名
令和6年 7月 10日 (水) 10:00~12:00	〃	13名
令和6年 9月 11日 (水) 10:00~12:00	〃	10名
令和6年 11月 13日 (水) 10:00~12:00	〃	12名
令和7年 1月 8日 (水) 10:00~12:00	〃	9名
令和7年 2月 3日 (水) 11:00~12:00	〃	11名
令和7年 2月 15日 (土) 9:30~	中央公民館	
令和7年 3月 12日 (水) 10:00~12:00	(社福)彩凜会	—

2 会議の主な内容

1) 情報提供・意見交換

(1) 各事業所の状況報告について

- ・事業所の状況報告をし、利用状況や困りごとなどの情報共有を図った。

(2) ショートステイ利用状況について

- ・市内事業所のショートステイの利用状況についての報告を受けた。利用者数は、昨年に比べ増加傾向。利用日に空きあり。
- ・短期入所の利用から入居につながりやすい。

(3) その他、現状や課題について

- ・各事業所共通の課題として、職員の人材育成が挙げられた。

2) イベントについて

- ・権利擁護の観点から、市内のグループホーム（以下、GHとする。）入居者の顔が見える利用者主体のイベントとなるような企画し、開催した。
- ・市内GHの入居者全員にアンケートを実施し、その結果をイベント内で公表した。
- ・今後GHの利用を検討している方とその家族にも参加していただき、GHでの生活のイメージを持てる機会となった。
- ・市内のGH入居者の交流の機会となった。

3 令和7年度について

各事業所の利用状況や困りごと、事例の共有を図りながら事業所間の連携を深め、入居者やその家族の生活の安定につなげていきたい。今年度、各事業所から共通の課題として、「職員の人材育成」が挙げられた。入居者が安心して日常生活を送れるよう、部会の次年度

のテーマとして、各事業所及び行政が連携し、質の高い支援ができるよう課題解決に向けて取り組んでいきたい。また、人材育成を目的とした勉強会を開催するなど、部会の中で情報共有や課題解決を行い、障がい者が質の高い支援を受けながら、安心して地域生活を送れるよう事業所と行政との連携を図っていきたい。